



SDG's 北海道 メジャーグループ 農民グループ

2023. 3. 11

メノビレッジ 長沼
荒谷明子

メジャーグループにおける、グループの位置づけ

(農民グループの立ち位置ってなんだろう)

多様性

農民ミーティングでの対話を通して、

農業のキーワードは多様性だと気づいた。

それを皆で理解して分かち合えるのが農業の素晴らしさだ。

対話・分かち合い・理解の共有

コミュニティーの中に農業がある、というふうに考えると、

農業は、多くの人と対話し、

分断ではなく分かち合いや理解の共有を生み出すもの。

関わりやつながりの創造

皆が関わりを持っていることを体験できれば、

もっと農業が楽しくなるし、どんな人ともつながれる。

それによって、社会全体が変わっていくと思う。

これまでの取り組み

(出来てること、足りて
ないこと)

暮らし

家族で協力して仕事や生活をしている

なかなか自分の暮らしが外へ広がっていかない

土

目に見えるものだけでなく見えないものにも向き合う気持ちで仕事をしている

よく観察することを心がけている

社会

地域でお金や栄養が循環するために、まず地域のものを食べることから始めてみている

目指す姿やビジョンがなかなか見つからない

農民の立場から見た 社会の切実な課題



課題への 農民的アプローチ

衣食住を外部に依存する不安定な経済



自給を高め、暮らしを自分たちの手に取り戻す
地域で栄養やお金が循環する、土に根ざした経済を創造する
種子を採取する権利や食の主権を持てる社会を提言する

気候危機



人・土・空気・水・生きもの全ては、つながり関係しあっているという
全体的視野を持って農業する

炭素を土壌に蓄える農法へ転換すれば大気中の二酸化炭素が削減されることを、実践とともに伝えていき、いい知恵を出し合って希望のある話し合いの場を作りたい。

戦争・競争・奪い合い



次のページへ



自然界では、あらゆる命がそれぞれのやり方でその場を清らかに保とうと働きあっている。多様性が大切。
そこから人も学んで、いのちのつながりを愛しみながら、農業や暮らし、社会を作っていきたい。

